

【さくらんぼ】

佐藤錦は終了、紅秀峰も終盤です。数量減の単価高で荷動きは鈍く相場は下げが続いています。紅秀峰の数量は平年並みで出荷されていますが、小売りでは他夏果実への移行が進んでおり引き合いは弱くなる見通しです。

【日量】約 200 kg（※規格が細かいためkgでの記載です）

【単価】紅秀峰（200g パック） L 550-500 円

佐藤錦（200g パック） L 550-500 円

【きゅうり】

相場は強保合い、天候不順により入荷量は横ばいで推移しています。次週中ごろから関東産の切り上がりが見込まれますが、今後の天候次第で入荷量が大きく変わるため慎重な相場展開が続く見通しです。

【日量】16,000 ケース（5 kg/箱）

【単価】A 2,200-1,900 円 B 2,000-1,800 円

【ミニトマト】

末端の荷動きは鈍い状況ですが、先行産地の入荷量が減少しているため相場は保合いとなっています。

【日量】6,600 パック（200g）

【単価】A L 200-160 AM 220-170

【ピーマン】

本県産は出荷始め、先行産地は今後減少が見込まれます。過不足なく荷動きは良好で単価は保合いです。

【日量】500 袋（150g）

【単価】A L 100 AM 120-100

【花 卉】

出荷状況につきましては気温上昇に伴い7月新盆需要用作型の出荷が始まりました。出荷ピークは7月3日～7月5日頃（平年は7月6日～10日）になる見込みです。

販売状況につきましては、キク全般に引き合いが弱く、スプレーマムが前年並みの安値相場となっております。小菊については全国的な出荷量増加により安値相場が続いています。切り花類について今後猛暑日が続く、厳しい相場展開が続くことが想定されます。

【日量】（箱）：450（小菊 200・SPマム 130・リンドウ 10・スターチス 50・他 60）

【単価】（本）小菊 2L55 円 L45 円 M40 円（昨年 2L60 円 L50 円 M40 円）

スプレーマム 2L70 円 L50 円 M30 円（昨年 2L75 円 L50 円 M35 円）